

ボランティア大賞受賞活動

ボランティアに関する感動的な活動、勇気づけられる活動または心温まるような活動及び企業等が実施するボランティア活動に感謝し、表彰することにより、ボランティア活動の活性化と全県的な広がり の機運を高め、その社会的認識の向上を図ることを目的としています。

香川県政策部男女参画・県民活動課

これまでの受賞者

令和5年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	被災地の復旧支援活動及び防災減災活動 特定非営利活動法人東北ボランティア有志の会香川 [団体]	災害救援関係、ボランティア活動支援	各地の被災地支援を行うとともに、重機の操作の研修等を通じて、災害ボランティアの人材育成やスキルアップも行っている。このほか、南海トラフ地震の発災時の連携救援活動を行うために「四国災害ボランティアネットワーク」を設立し、幹事団体を務めている。	東日本大震災以来、実施している各地の被災地支援とともに、平時からの災害ボランティア育成やスキルアップ研修を実施しており、本県の防災減災対策に貢献している点が評価された。	高松市 約13年
2	地域の文化芸術の振興 岩崎 勲 [個人]	学術・文化・芸術・スポーツ関係	代々引き継がれてきた岡田おどり保存会を次世代へ引継ぐための世話役であるとともに、火天狗太鼓保存会では、同会を自ら立ち上げ、活動を本格的なものへと発展させ、活動に欠かせない道具の維持管理、人や道具の手配などを継続して一手に担っている。このほか、過去には旧綾歌町及び丸亀市文化協会会長等として、地域の文化芸術振興に尽力している。	約50年間という長きに渡り、地域に残る郷土芸能の伝承活動に取り組むとともに、約28年間、市町の文化協会会長及び副会長として文化芸術の振興にも貢献してきた点が評価された。	丸亀市 約50年
3	栗林公園におけるボランティアガイド活動 栗林公園ボランティアガイドクラブ [団体]	観光の振興 学術・文化・芸術・スポーツ関係	幅広い年代の数多くのボランティアが無理なく継続して活動し、県内の歴史等の幅広い知識を生かして、長年、海外を含めた来園者に公園の魅力を発信し続けている。また、会員相互の知識向上のための研修会の開催のほか、校外学習のガイドを通じて県内の子どもたちへの地域の歴史の伝承に貢献している。	本県を代表する観光地で、約17年間絶え間なく継続して、幅広い年代の数多くのボランティアがガイドを行っていることで、本県の観光振興に貢献している点が評価された。	高松市 約17年
4	紫雲出山の清掃活動及び子ども向け野外映画上映活動 富士建設株式会社 [団体]	まちづくり関係、観光の振興 環境保全関係 子どもの健全育成関係	創業者が植樹や遊歩道の整備を行った紫雲出山で、山頂公園のごみや落ち葉などの収集、道路わきの雑草刈りに社員総出で、他の協力企業とも連携し、清掃ボランティアを行っている。このほか、中津万象園内の野外市民広場において、主に小学生向けのアニメ映画等の野外上映会(無料)を毎年協力企業とともに開催し、地域に貢献した活動となっている。	地域貢献という企業理念のもと、観光名所となった紫雲出山で実施している清掃活動や子ども向け野外映画上映が、他の企業の模範となる活動である点が評価された。	三豊市 約18年

令和4年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考
					活動年数
1	図書館や保育所・幼稚園・小学校でのおはなし会を中心とした読書活動の推進 ももの会 [団体]	学術・文化・芸術・スポーツ関係	図書館や保育所・幼稚園・小学校で未就学児から小学校低学年を対象に定期的に絵本の読み聞かせを行い、親子で気軽に参加できる場を提供している。子どもたちに絵本の魅力を伝えることで、豊かな心の醸成や表現力・創造力の向上に貢献している。	約27年間という長きに渡り子どもたちとその家族のために活動しており、読み聞かせを通じて親子がふれあうきっかけづくりに貢献している点が評価された。	三豊市 約27年
2	科学教育講座運営のボランティア活動(青少年の理科教育普及支援) 富田 章弘 [個人]	学術・文化・芸術・スポーツ関係 情報化社会の発展 科学技術の振興	情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)で毎週開講しているロボット科学教室「ロボット・ラボ」にて、小学生から高校生を対象に電気や電子、情報通信に関する知識や技術を伝えている。受講生にデジタルやITの魅力を伝えることで、進路や将来に影響を与えている。	将来のある子どもたちへ向け、使命感をもってデジタル教育に取り組んでいると感じられ、受講生の進路や将来に良い影響を与えている点が評価された。	高松市 約17年
3	若者の社会復帰支援活動 さぬきポレポレ農園 [団体]	子どもの健全育成関係	不登校の人や社会に出ることが困難な人などが、仲間たちと米や野菜の栽培をしていく中で新しい自分づくりをし、学校や社会復帰を目指して活動する場を提供している。また、栽培した米は子どもの貧困対策として十分な食生活を送れていない家庭に提供している。	深刻な社会課題に私財を投じてまで長年携わることは簡単にはできず、後継者の確保もできており、今後の継続性が担保されている点が評価された。	さぬき市 約17年
4	道路、公園、海浜、登山道、休耕田等の美化・保全活動 三菱電機株式会社受配電システム製作所 [団体]	環境保全関係	社会貢献活動の一環として会社周辺道路の不法投棄物の片付けなど、地域の美化活動に長年貢献している。また、近年では里山・里海保全活動にも注力しており、活動後にはこども野外教室やウミホテルの観察会を通じて、環境保全活動への理解を深める活動を行っている。	約43年間という長きに渡って参加者が無理なく自主的に活動しており、子どもの情操教育にもつながり、家族の絆も深まる素晴らしい活動である点が評価された。	丸亀市 約43年

令和3年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	神戸(震災で被災した高齢者)に手紙を書く会 とらすとK [団体]	保健・医療・福祉関係、まちづくり関係、災害救援関係、地域安全関係	県立琴平高校の生徒が主体となり、文通を通じて震災で被災した高齢者に元気になってほしいという思いから結成された。「どうすれば相手が元気づけられるか」ということを第一に考えながら文通等による交流を続けることで、被災者支援に貢献している。	高校生が主体となり被災者支援活動を継続している点や、手紙の書き方を知らない若者もいる中で文通という文化を大切にしながら活動している点が高く評価された。	琴平町 約16年
2	食を通じた障害者の居場所提供と地域交流促進活動 鳥井 和代 [個人]	保健・医療・福祉関係、まちづくり関係	障害者の居場所づくり及び障害者と健常者との交流の場の提供を目的に、営業している喫茶店を月に一度開放している。また、町内のイベント等にも出店し、そこで得た利益をボランティア団体へ寄付するなど、障害者や高齢者が住みやすい地域づくりに貢献している。	役場での経験をきっかけに、障害者のために地域の誰もが参加できる居場所づくりに貢献している点が評価された。	宇多津町 約17年
3	和文化交流支援活動 明石 美代子 [個人]	子どもの健全育成関係	カナン保育園児童クラブの児童及び園児を対象に、お茶の作法の指導を通じて立ち居振る舞いだけでなく相手への気遣い等を教えている。また、高齢者施設でもお茶の教室を開き、園児及び児童を招待することで、高齢者との触れ合いの場を提供している。	36年の長きにわたり、お茶の作法等を園児や小学生に教えることで、子どもたちの価値観や気づきの広がりに寄与していると評価された。	高松市 約36年
4	伴走、伴歩による視覚障害者等の健康増進支援活動 てんとう虫パートナーズ [団体]	保健・医療・福祉関係	視覚障害者などの健康増進を目的に、四国で最初の伴走・伴歩支援団体として結成された。毎週高松等の各会場にて活動をしており、伴走・伴歩の活動への理解促進に努めている。また、活動の影響を受けて他県でも同様の団体が結成されるなど、先駆的な役割も担っている。	こうした地道な活動が、アスリートの誕生につながり、多くの人に希望と勇気を与えることにもつながると評価された。	高松市 約13年

令和2年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考
					活動年数
1	子どもの安全パトロール・登下校の見守り 岡田勝一 [個人]	地域安全関係	50年近くに渡り、毎日、朝と夕方、丸亀市立城西小学校周辺の横断歩道に立ち、横断旗をもって生徒を見守っている。下校時には集団下校の後ろをついて帰り、常に生徒の動きに目を配っている。また、交通安全を啓発する風や団扇も自作し、子どもたちに伝えている。	個人で50年近くという活動期間の長さは他の候補の追隨を許さず、職場の理解も得ながら活動を続けてきた点を評価。	丸亀市 約50年
2	屋島の活性化ボランティア 元気YASHIMAを創ろう会 [団体]	まちづくり関係、観光振興	屋島中学校昭和33年度卒業生が中心となり、屋島の活性化を図ることを目的として結成された。JR屋島駅の観光案内スペースの開設(毎週土日)や観光マップの作成、屋島寺でのお茶のお接待(月1回)など、屋島を盛り上げるための様々な活動を実施している。	同級生が地域を盛り上げるために自主的に集まり、創意・工夫を凝らして様々な活動を行っている点を評価。	高松市 約15年
3	香川の森づくり・人づくり活動 (公財)オイスカ四国支部 [団体]	環境保全関係	平成7年から「山・林・SUN体験植林ボランティア」と題し、県内各地で地域や企業とともに、植林活動を行っている。また、子どもたちへの環境学習として、間伐材を使った「森のつみき広場」を県内の小学校やコミュニティーセンター等で開催し、森を守る必要性の理解促進をしている。	財団法人としての活動ではあるが、採算性のあるものではなく、真に地域の未来のために活動している点を評価。	高松市 約26年
4	四国88ヶ所霊場遍路道等清掃ボランティア (一社)香川県産業廃棄物協会 [団体]	環境保全関係	年に一度、県内の四国88ヶ所霊場の遍路道等において、世界遺産登録を目指す四国の各協会が合同で、地元ボランティアや行政と協力し、会員が持つ車両などを使用しながら不法投棄された廃棄物、特に一般のボランティアでは回収できないような大きな廃棄物などを回収している。	世界遺産登録という大きな目標に向かって、目立たない活動ではあるが、専門性を活かして活動している点を評価。	高松市 約12年

令和元年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	図書館ボランティア活動 坂出市立大橋記念図書館友の会 [団体]	学術・文化・芸術・スポーツ関係	平成15年から坂出市立大橋記念図書館を中心に活動している様々なグループが、「坂出市立大橋記念図書館友の会」として設立した。現在、10グループの74名が互いに連携・協力しながら、「図書館まつり」などの図書館行事を企画し、市民と図書館とをつなぐ活動をしている。 また、各グループが幅広い世代向けに「パソコン教室」や「紙芝居」、「天体観測」「読み聞かせ」などの活動を活発に行い、その活動は図書館だけにとどまらず、幼稚園や学校、福祉施設などで活動を展開している。	個々のグループの活動は「高齢者向けのパソコン教室」や「手作りの紙芝居を使った親子向けの読み聞かせ」など、内容や対象も多岐に渡っており、それらのグループが「友の会」として緩やかに連携していることが、活動の幅の広がりや継続という点で高評価であり、他の団体の模範となると感じた。	坂出市 約15年
2	赤ちゃんから高齢者までへのお話し会や視覚障害者への朗読会など 朗読グループどんぐり [団体]	保健・医療・福祉関係 学術・文化・芸術・スポーツ関係、 子どもの健全育成関係	平成8年に視覚障害者向けの広報誌の朗読録音奉仕の活動を始め、その後、絵本を中心としたお話し会をするようになった。現在では活動回数は年間200回を超えており、活動内容は、視覚障害のある高齢者向け施設での朗読会や自治会等での落語会、地域の子どものために旧分校舎を利用した読書スペースを開放する「どんぐり文庫」など、対象は多岐に渡っている。その他、中学生に、読み聞かせ活動を行う事前学習の講師として指導もしている。	200回を超える昨年度の活動数は王巻であり、活動の対象の幅や活動地域の広さにも驚いた。ただ、そのうえで、「無理をしない」をモットーにメンバーが自主性を持って活動していることや、「どんぐり文庫」という地域に根ざした拠点を持っていることが、活動を長く続けることができている理由ではないかと感じた。	さぬき市 約23年
3	海ごみ対策「美しい海を瀬戸内から」 森田桂治 [個人]	環境保全関係	平成8年以来取り組んできた瀬戸内海での海ごみ対策は、今では年間60回を超えるごみ拾い活動や、次世代へ環境保全の大切さを啓発する様々な活動に発展している。その活動は、単に海ごみを拾って海をきれいにするだけでなく、海ごみを調査し、海ごみの発生抑制に取り組むほか、海ごみを使ったパネル展や芸術作品の制作などの啓発活動にも力を入れている。 また、理事を務めるNPO法人アーキペラゴでのクリーンアップ活動や、県と香川大学が開校している「かがわ里海大学」の講師など、精力的に活動している。	近年、世界的に海のマイクロプラスチックが大きな問題となっているが、20年以上も前から海ごみ問題に取り組んでこられたことへの先駆性はすばらしい。 また、楽しみながら活動する姿勢が多くの方を魅了し、仲間を増やしながら活動の幅を広げてこられたのだらうと感じた。香川県の財産である瀬戸内の風景を守るため、今後とも大いに活躍されることを期待する。	高松市 約23年

平成30年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	公共施設(公園、学校など)のトイレ清掃活動 香川掃除に学ぶ会 [団体]	環境保全関係	平成9年から、毎月1回香川県内全域の公共施設のトイレ(公園、学校等)掃除に取り組んでいる。毎月、参加者が会費を払って、掃除道具や洗剤等を用意している。やすりを使って頑固な汚れを取り除き、トイレの壁や床も磨くほか、野外のトイレの場合には桶の掃除も行っている。また、清掃活動終了後、参加者全員で感想を話し合ったり、用意した弁当を共にする機会を設けるなど、会員相互の密接な交流の場を持つことで、楽しく活動するための工夫をしている。 また、「日本を美しくする会」を主宰する鎌山秀三郎さんを招いて講演会を開催するなどの研修会も行っている。	単に掃除をするということではなく、手作業で頑固な汚れを取り除くことに没頭し、掃除に学ぶという姿勢には委員一同大変感銘を受けた。 今後も活動を続けていかれることで、学校の生徒たちを始めとして、多くの人々に影響を与え続けていただきたいと感じた。	坂出市 約21年
2	図書館や幼稚園、小学校におはなし会を届け、子どもと本をつなぐ活動 おはなし紡ぎの会 [団体]	学術・文化・芸術・スポーツ関係	1995年に香川県立図書館主催「ストーリーテリング指導者養成講座」の参加者有志により設立し、1995年9月から、香川県立図書館でおはなし会を始めた。 現在、ストーリーテリング(語り)を中心に絵本・詩・わらべうた・手遊びなどを、聞き手の年齢や季節感を考え組み合わせたプログラムによりおはなし会を行っている。 おはなし会のプログラムの充実や会員の資質向上に努めており、児童文学に関する講演会等を主宰するほか、香川県教育委員会や高松市教育委員会などが主催する子供と読書に関する研修会の講師を務めるなどしている。	単に読み聞かせを行うだけでなく、ストーリーテリングやわらべ歌など趣向を凝らした活動は、綿密な打ち合わせに裏打ちされ、子どもたちだけでなく、保護者までも聞き入る「おはなし会」は、他の読み聞かせ活動とは一線を画すものと感じた。 これからも、子どもたちと本との架け橋として活動を続けていかれることをお祈りする。	高松市 約22年
3	一人でも多くの赤ちゃんの命が救われ、母と子の助けになることを目指す活動 香川母と子のいのちを守る会 [団体]	保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、子どもの健全育成関係	命は授かりもの、胎児のいのちを守りたいとの思いで平成元年7月「生命の尊さを考える香川女性の会」として、命の始まりを大切に社会を目指し、様々な活動を開始。子どもたちに生命の尊さを伝えると共に、おなかに宿った小さな生命が大きな産声と共に生まれ育っていく社会、親が子育てを通して幸せを感じ、子どもの笑顔がいっぱい広がる社会を願って活動を進めている。 主な活動としては、月刊誌「生命尊重ニュース」の普及のほか、「いのちの教育講演会」の開催、子育て中の母親向けの勉強会「ワン&オンリーの会」の開催や「妊娠SOSホットライン」の開設、新しいいのちの誕生を支援する募金「円プリオ基金」の普及活動を行っている。	新しいいのちの誕生を支援する募金「円プリオ基金」の推進や妊娠中・子育て中の母親を対象とした講演会・相談会の実施などの活動は幅広く、妊娠・子育てで悩んでおられる母親の皆さんにとっては大きな励みになるものと感じた。 少子化が進む現代において、一層大切にしていかなければいけないいのちの誕生を支援する先駆けとして、社会全体に命の大切さを発信して頂きたい。	高松市 約28年

平成29年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	団体のメンバーの特技を活かした訪問ボランティア ボラえもんグループ [団体]	保健・医療・福祉関係、 子どもの健全育成関係	年間を通して延べ600回以上、放課後児童クラブ、幼稚園、保育所、高齢者施設、コミュニティセンター、地域のイベント、こども会など様々な場所で、代表の「ボラえもん」こと藤巻さんの特技である手品をはじめ、日本舞踊、フラダンス、大正琴、ギター、二胡、コーラス、キッズダンス、歌、オカリナ、昔話、和太鼓など、メンバーがそれぞれ得意な演目を披露し、たくさんの人に勇気や感動を与えている。 2000年に4人で活動を始めた活動が、現在では約160人にまで広がっており、メンバーも3歳から89歳までと幅広い年代層で組織されている。「特技を活かしたボランティアをしたいが、場所や方法がわからない」「まとまった時間はできないが、10分～15分あればできる」とメンバーのグループへの参加のきっかけは様々だが、毎年、代表の藤巻さんのもとには多才な仲間が集まってきている。ボラえもんグループの訪問ボランティアの活動は1人での参加からグループでの参加があり、時間も1回15分から長時間まで、参加回数も3カ月に1回、曜日指定、年3回から100回以上など様々であるが、代表の藤巻さんが上手くコーディネートすることにより、メンバーそれぞれが自由に、楽しみながら参加することが出来ている。	訪問ボランティアとしての活動件数や会員数、内容の充実ぶりだけではなく、手品などで自らも積極的に活動しつつ、約160人の会員の予定にあった活動機会を提供し続けている代表者のコーディネート力・調整力・巻き込み力にはただただ感銘を受けるばかりである。 いくつになっても自分の特技を活かせるような場や機会を積極的に提供する「ボラえもんグループ」があることで、演目を見る方々に楽しみを与えるだけではなく、活動する方々の生きがいも支えていると感じた。	高松市 17年
2	自然観察を通じて、一般県民への自然保護思想の普及啓発を図る活動 しぜんかんさつかい かがわ自然観察会 [団体]	環境保全関係	かがわ自然観察会は、平成3年1月、県内の自然観察指導員が集まり発足した。「五色台自然楽校」「キャッチ・ザ・自然」などの自然観察会・イベントなどを通して、身近な自然の紹介や、楽しい体験企画を提供し、かがわの自然の豊かさに感動していただき、多くの方に「かがわの自然環境を大切にしたい!」と思っていただけるように活動を行っている。 「五色台自然楽校」は、平成3年から毎月第1日曜日に開校している。五色台ビジターセンター周辺の散策路での自然観察、森づくり体験活動、季節ごとの森の恵みを使ったクラフトづくりや食体験を実施している。 「キャッチ・ザ・自然」は、春と秋の年2回、五色台以外の里山と干潟に出かけて観察する体験活動である。身近な自然の良さを感じ、観察することを通して様々な植物や生き物を発見し、自然や環境について学び、考えることができる活動であり、子どもから大人まで気軽に参加できる。 このほか、自然観察やクラフトづくりなどの「出前授業」も実施している。	約26年にわたり、「五色台自然楽校」や「キャッチ・ザ・自然」などのイベントを月1回以上企画・運営し、身近な自然の紹介や、自然を楽しむことが出来る体験を参加者に提供している。 これほどの長い期間、県内の自然の良さや大切さを誰にでも分かりやすく、かつ楽しく啓発する活動をボランティアとして継続的に実施していることの意義はとて大きい。 是非、次の世代にも繋げていってほしい環境教育・啓発活動である。	坂出市 26年

3	<p>防災活動を中心とした地域おこし活動</p> <p>いわさき せいさく 岩崎 正朔 [個人]</p>	<p>まちづくり 関係</p>	<p>地域の様々な行事に「防災」の視点を取り入れたり、地域の学校や社会福祉施設と連携した訓練や「防災」に関する行事を企画したりするなど、すべての方に関係する「防災」をまちづくりの鍵として、地域コミュニティの活性化や、住民同士の関係づくりにつなげていく活動を行っている。</p> <p>また、「丸亀市川西地区自主防災会」や「かがわ自主ぼう連絡協議会」を設立し、防災に関する数々の先進的な手法を模索しながら取り入れ、そのノウハウやスキルを地域の中だけでなく、県内全域へ広げる活動を行うなど、県の地域防災力の向上や人材育成に精力的に取り組んでいる。加えて、県内に限らず、東日本大震災及び熊本地震の際は、地区の有志を募り、被災地で炊き出しボランティアを行った。さらに、自治会長として、環境分野や青少年分野など地域貢献のための活動に自発的に取り組んでいる。</p>	<p>自治会長及び地区防災会長として、「防災」をまちづくりの鍵とした地域コミュニティの活性化に取り組んでいるほか、県内自主防災組織の結成促進や機能強化を図る活動に尽力するなど、県の地域防災力の向上や人材育成に多大な貢献を果たしている。</p> <p>誰もが関係する「防災」というテーマから地域の絆をつなぐ活動を着実に推進するとともに、活動継続の仕組みづくりまで考え、実践している点など、その実績と心意気に敬服している。香川県から「自助」「共助」の大切さを全国に発信している、全国に誇れる活動である。</p>	<p>丸亀市 約25年</p>
---	--	---------------------	---	---	---------------------

平成28年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	<p>民踊・ひまわり会 (老人ホームへの訪問活動)</p> <p>みんなの民踊・ひまわり会 [団体]</p>	<p>保健・医療・福祉関係</p>	<p>「民踊・ひまわり会」は昭和54年に、藤間流の師範のもとに近所の踊り好きな人達20名程が集まって発足したグループである。現在は11名ほどで、「舞を通して人と人とを心でつないで行く」をモットーに週に一度集まって稽古に励んでいる。</p> <p>平成5年に老人ホームからの相談がきっかけで、老人ホームに出向き、踊りを披露するようになり、以降毎月1回以上老人ホームを訪問。これまで訪問した施設は高松市内外で20ヶ所にもものぼる。</p> <p>施設を訪問するたびに、「また来てよ」と入所者に喜んでもらっており、昔なつかしい曲目を使用し、会員が頭を悩ませ考えるプログラムや踊りは、入所者から手拍子や合いの手も起こるなど、楽しみを与えている活動である。</p>	<p>約23年にわたり、毎月1回以上、高松市内を中心とした老人ホームを訪問し、踊りを披露されている。昔懐かしい曲目を使用し、会員の方々が頭を悩ませ考えるプログラムや踊りは、訪問先で非常に喜ばれている。</p> <p>これらの活動は踊りを通じて元気や笑顔を届けられる活動であり、また、会員の方々も、訪問先の方々の笑顔を力に変え、自ら楽しむ姿勢を持ち続けられていることに感銘を覚える。</p> <p>会員の高齢化が進んでいるようなので、今回の受賞を機に、特に若い世代の皆さんに活動の輪が広がっていくことを切に願っている。</p>	<p>高松市 約23年</p>
2	<p>仁尾町父母ヶ浜の海岸清掃</p> <p>ちちぶの会 [団体]</p>	<p>環境保全関係</p>	<p>干潮時は約400mに渡って干潟が現れる場所であり瀬戸内海に沈む夕日の名所としても知られている仁尾町父母ヶ浜の美しさと自然を維持するために、平成8年より、毎月第1日曜日の朝、海岸清掃を行っている。地元の砂浜をきれいにしたいと願う人たちが集まり、当初は7人で始めた活動が、活動に賛同する方が増え続け、現在は60人にまで参加者が増えている。</p> <p>また、会の有志でリーフレットを作成し、父母ヶ浜の美しさをPRする活動も行っている。</p>	<p>仁尾町父母ヶ浜の美しさと自然を維持するために、平成8年より毎月第1日曜日の朝、海岸清掃を行っている。</p> <p>「父母ヶ浜を日本一美しい海岸にしたい」と当初は7人で始めた活動が、現在では60人程になるまでその活動の輪を広げている。</p> <p>これらの活動は父母ヶ浜の美しさを未来に引き継ぐとともに、清掃活動のボランティアを通して社会や子どもたちへのメッセージを発信し続けている活動であり、この素晴らしい活動が今後も末永く続けられていくことを期待している。</p>	<p>三豊市 20年</p>
3	<p>愛のモチーフ運動の提唱と実践活動</p> <p>ピコットの会 [団体]</p>	<p>保健・医療・福祉関係</p>	<p>「いつでもどこでもだれにでも」できるボランティアとして「愛のモチーフ運動」を提唱し、この運動に賛同された全国の方々から10cm角の毛糸編みのモチーフが寄せられ、会員の手により、次々と生まれる「ひざかけ」や「座布団」を全国の被災地や県内外の障がい者施設や老人ホームなどに贈呈している。昭和55年以降毎年贈呈しており、これまで生み出されたモチーフの数は46万枚、贈呈先は全国443ヶ所にも及んでいる。</p> <p>これは「ものを大切にする」ということから始めた活動であり、10cm角の毛糸編みのモチーフをとじ合わせて作った「ひざかけ」や「座布団」を贈ることで優しい気持ちを伝えている。</p> <p>また、毎週水曜日に高松市総合福祉会館にて例会を催し、会員が気兼ねなく集まることのできる場所を作っている。</p>	<p>「いつでもどこでもだれにでも」できるボランティアとして37年の長期間にわたり、10cm角の毛糸編みのモチーフを繋ぎ合わせ、ひざかけや座布団を作成し、県内外の被災地や老人ホームなどへ贈る活動を続けている。</p> <p>これらの活動は、優しく温かい心とともに、ものを大切にする心を届け続けている活動であり、長期間継続した活動に対して、心から敬意を表したい。</p> <p>また、今回の受賞を機に、ボランティア参加者が少しでも増えることを切に願っている。</p>	<p>高松市 37年</p>

平成27年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	図書館や各種イベントでの紙芝居や朗読による表現活動 じゆく まいまい 塾 ネットワーキング [団体]	学術・文化・芸術・スポーツ	1980年代に高松市主催の朗読講座を受講したメンバーで表現活動を始め、1993年4月にボランティアグループとして設立。1995年8月から、香川県立図書館の児童資料コーナーで「わくわくかみしばい会」を始めた。 現在、県立図書館(毎月第4土曜日)のほか、高松市中央図書館(1996年4月から、毎月第1土曜日)において、定例の紙芝居会を実施。その他、1994年7月から現在まで、朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」を幼稚園・小学校などで上演している他、各種イベントに参加し、紙芝居会の実施等、協力を行っている。	20年以上にわたり、香川県立図書館や高松市図書館などで、紙芝居を中心に子どもが読書を楽しむための活動を継続的に実施している。紙芝居の他、原爆での実体験をもとにした朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」を幼稚園・小学校などで上映し、戦争の悲惨さ、平和や心のつながりの大切さを語り継いでいる。 これらの活動は、子どもの読書活動の推進や健全な成長の助けとなる素晴らしい活動であり、今後もその活動の輪が、特に若い世代の皆さんにますます広がっていくことが期待される。	高松市 24年
2	精神障がい者やその家族に安心を贈る精神保健福祉ボランティア活動 しょうどしま 小豆島マインド [団体]	保健・医療・福祉関係	小豆郡を活動範囲とし、結成当初から障がい者とその家族の地域での生活を支えるため様々な活動を行っている。 活動内容は、障がい者とその家族を対象とした電話相談や家庭訪問、料理教室、お花見や紅葉狩り、新年会やミモザ鑑賞などの季節行事や、島外も含めた外出支援、他の障がい者団体との交流などである。電話相談は時間を問わず対応し、その不安に寄り添い話をすることで不安を軽減している。家庭を訪問する時にはボランティアの方々の自宅の料理を届けることで、家庭の暖かさや地域で見守られているという安心感も届けている。 料理教室は毎月第3土曜日に開催している。毎回、好評で簡単安価でバランスの取れたメニューを考え、食材の購入から後片付けまでを障がい者とボランティアがともに行っている。この料理教室を通して、バランスの取れた食事を提供するとともに、障がい者がボランティアと一緒に活動することで日常生活スキルの向上や地域での生活の継続に大きく役立っている。 また、障がい者のグループ活動(映画鑑賞、カラオケ、読書会など年間12回)や保健所主催の「地域の暮らしに役立つセミナー」(年間10回)などの行事にも積極的に支援活動を行っている。 さらに、地元の商工祭などで、障がい者やその家族と一緒に手作りのストラップやポプリと合わせて啓発パンフレットを来場者に配布するなど、精神障がいや精神障がいを持つ人への理解を深めるための啓発活動にも熱心に取り組んでおり、障がい者の社会参加の機会を提供することに貢献している。 加えて、ボランティア活動の質の向上や活動範囲の拡大を目指し、積極的に島内外の研修会等に参加している。	「互いに安心を贈り合うこと」をモットーに、精神障がいのある方とその家族の、地域での生活を支える様々な活動を行っている。家庭訪問や時間を問わない電話相談などの活動の他、食材の購入から後片付けまで障がいのある方とボランティアが一緒になって行う料理教室は参加者に好評で、日常生活のスキル向上や地域での生活の継続に大きく役立っている。 小豆島という離島で、限られた社会資源しかない中、当事者やその家族にとって無くてはならない活動になっており、この活動を地道に根気強く続けてこられたことに深く敬意を表す。また、今回の受賞を機に、ボランティア参加者が少しでも増えることを切に願っている。	土庄町 24年

平成26年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	<p>チャオ音楽隊</p> <p>おんがくたい チャオ音楽隊</p> <p>[団体]</p>	<p>保健・医療・福祉 まちづくり</p>	<p>1995年に「チャオ音楽隊」の前身であるバンドを結成。松福町の喫茶チャオなどを会場に、地域の活性化を目的にした演奏会を定期的実施。</p> <p>2004年夏、台風16号による高潮災害を機に、バンド名を「チャオ音楽隊」に変更。被災の際、みんなで助け合っ て乗り越えたこと、多くのボランティアの人たちに助けてもらったことへの恩返しなど、音楽を通して自分たちの できることをあらためて考えなおす。</p> <p>以後、それまではジャズ中心であった 曲目を懐かしい昭和のメロディ「青い 山脈」「銀座カンカン娘」など、誰もが 一度は聞いたことがあり、サビなら口 ずさめる曲に変更し、演奏だけではなく、一緒に歌ってもらうスタイルに。 喫茶チャオでの定期演奏会はもちろん、 老人ホームなどへの慰問にも歌詞カ ードを持参。ホームのお年寄りたち にも、コーラスメンバーと一緒に歌っ てもらっている。毎月第2日曜日チャ オ音楽隊定期演奏会(会場:喫茶チャ オ)をはじめ、月2回のペースで老人 ホームなどへ出張演奏。地域や老人 ホームの夏祭りなどに参加。</p> <p>結成から20年を迎え、今後も定期演奏 会、出張演奏を行いながら、さらに音 楽を通じて人々に元気や笑顔を届けら れるようメンバー一同、練習に励んで いる。</p>	<p>地域の活性化を目的にした演奏 会や老人ホームなどへ出張演奏 を行う活動であるが、2004年夏 の台風16号による高潮被害で多 くのボランティアの人たちに助け てもらって以降は、誰もが聞いたこ とのある懐かしい昭和の曲を一 緒に歌ってもらうスタイルに変更 しており、出張演奏先で大変喜ば れている。</p> <p>これは、まちづくりを支える とともに音楽を通じて人に元気や 笑顔を届けられる活動であり、今 後もその活動の輪がますます広が っていくことが期待される。</p>	<p>高松市 18年</p>
2	<p>高田駅前の交通整理、環境 美化活動</p> <p>みぞぶち よしいち 溝 淵 芳 市</p> <p>[個人]</p>	<p>環境保全 地域保全</p>	<p>児童の登校時に高田駅前の横断歩道 で交通整理を、40年以上にわたり行 っている。当初は地域の方が始めた交 通整理と一緒に進んでいたが、他の方 が続けられなくなってからも現在まで 20年近く、一人で活動を継続してい る。</p> <p>交差点に信号が付く以前から交通整 理を行っており、信号が整備された現 在においても、溝淵氏が立っていない と、子どもたちが信号を無視して横断 するなど危険なことが多く、彼の厳し く優しい指導が高校生などから特に 頼りにされている。</p> <p>交通事故が多いと言われている香川 県において、安全・安心で住みよいま ちづくりにつながっている献身的な活 動である。</p> <p>また、高田駅周辺の清掃活動や自転 車置き場の整理を行うとともに、20 年ほど前からは、年2回、前田小学 校の児童と一緒に花壇の植え替えを行 い、水やり、草取りなど維持管理をし ている。</p> <p>他にも、高松東高校や香川大学医学部 の周辺道路、前田小学校での清掃活 動を行っており、地元の人から大変に感 謝されている。</p>	<p>昭和45年に中学生が登校中に 交通事故に遭って以降、40年以上 にわたり、毎日児童の登校時に高田 駅前の横断歩道に立ち、交通指導を 行っている。</p> <p>交差点に信号が付く以前から行 われているこの活動は、信号が整備 された現在においてもとても頼り にされている。</p> <p>また、交通指導とともに行ってい らっしゃる清掃活動は、駅周辺のみ ならず高松東高校や香川大学医学部 の周辺道路、前田小学校などでも 行われており、前田小学校の児童と 菊づくりに取り組んでいる活動と 合わせて、地元の人から大変に感謝 されている。</p> <p>強い意欲と情熱を持って活動を続 けていらっしゃることに、心からの 敬意を表したい。</p>	<p>高松市 44年</p>

平成25年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	<p>大川町ボランティア協会 配食サービス活動</p> <p>おおかわまち 大川町ボランティア協会</p>	<p>保健・医療・福祉</p>	<p>地域の高齢者などに手作りの食事を届ける配食サービスを行っており、地産地消を基本とし、会員が持ち寄る季節の野菜などを使った弁当は大変喜ばれている。この活動は、食育を通じた健康づくりにとどまらず、月に2回、住民自身が言葉を交わしながら弁当を手渡すことで、高齢者の見守りや相談などの役割を果たし、安心して暮らせるまちづくりにもつながっている。活動開始から24年が経った今でも、食に関する研修を積極的に行うなど、メンバーは変わりつつも意欲的な取り組みが受け継がれている。</p>	<p>1989(平成元)年から24年間にわたり、地域の高齢者などを対象に手作りの食事を届ける配食サービスの活動を行っており、会員が持ち寄った野菜などを使った季節感あふれるお弁当は、利用者の方に大変喜ばれている。また、この活動は、食を通じた健康づくりにとどまらず、お弁当を届ける方と受け取る方が互いに言葉を交わすことで、高齢者の見守りや相談などの役割を果たし、安心して暮らせるまちづくりにもつながっている。これは、地域に暮らす方々だからこそできる心温まるボランティア活動であり、今後も未永く続けられ、さらに発展していくことを期待する。</p>	<p>さぬき市 24年</p>
2	<p>地域の父親(おやじ)としてのかかわりを通じた子どもの健全育成活動及び地域活性化活動</p> <p>りつりん じゆく 栗林おやじ塾</p>	<p>子どもの健全育成</p>	<p>地域の父親たちによる「地域の子どもの活動支援」と「栗林地区のまちづくり」の活動を13年にわたり続けている。子ども達がのびのびと遊べる場の提供や国際交流、小学校体育館での宿泊と避難所体験など、知恵を絞った活動を通じて、子ども達のたくましい成長をサポートしている。また、夏祭りを30年ぶりに復活させるなど地域の仕掛人としての役割も果たしており、学校や地域から頼りにされる存在になっている。平成15年には初の「全国おやじサミット」を香川県で開催し、今年には瀬戸内国際芸術祭にあわせて栗林小学校と震災に見舞われた岩手県栗林(くりばやし)小学校との交流を象徴するオブジェ作りを主導するなど、その活動の輪は全国に広がっている。</p>	<p>「父親は子育てでもっと活躍できるはず」との思いから、2000(平成12)年から13年間、子どもたちがのびのびと遊べる場所を提供し、知恵を絞ったさまざまな体験を通じて、子どもたちのたくましい成長をサポートする活動を続けている。また、地域のシンボルである栗林公園を舞台に子どもたちを主役にイベントを開催したり、夏祭りを復活させたりと、地域の仕掛け人としても頼りにされる存在になっている。地域の子どもの地域の中で育てたいという信念のもと、小学校の保護者が中心となって始まった活動が、自分たちが住むまちを元気にする活動へとつながり、さらに、全国のおやじたちとの交流へと発展しており、今後もその活動の輪がますます広がっていくことが期待される。</p>	<p>高松市 13年</p>

平成24年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	図書館、保育所、盲学校等での本の読み聞かせと読書活動の推進 たかまつ 高松 ほん へや 本とおはなしの部屋 [団体]	学術・文化・芸術・スポーツ	平成13年に高松市図書館が公募した図書館ボランティアのなかで、より主体的かつ自主的にボランティア活動に取り組んでいきたいと考えるメンバーにより結成された。子どもや子育て中の保護者を対象に定期的におはなし会を行うほか、盲学校での対面朗読、視覚障害者のための「さわる絵本」の製作など、子育て中の親子や視覚障害者を対象に、10年以上、図書館ボランティアとして精力的な活動を続けている。	子育てを経験した女性の方が活動の中心ということもあって、子育て中のお母さん方に、読み聞かせを通じて「楽しく子育てしてもらいたい」という温かい思いが伝わってきた。 また、平均して月に20日程度の活動を行っていることは、非常に熱心かつ精力的な活動であり、評価できる。 これからは視覚障害者向けの活動もよりいっそう充実させたいとのことであり、さらなる活動の広がりを期待している。	高松市 10年
2	田村水泳教室 たむら かよ 田村 佳代 [個人]	学術・文化・芸術・スポーツ	多度津町のさくらプールがオープンした時から、20年間、小学生を対象にボランティアで水泳を教えており、多い時では週4回・50名を教えた。現在でも、週2回・10名を教えている。生徒一人ひとりに対する親切で分かりやすい指導は、泳げない子が泳げるようになるなど、競技性を追及するのではなく、泳ぐ楽しさ、達成感につながるものであり、子ども達や保護者から好評を得ており、感謝されている。	生徒一人一人に対する丁寧な指導は、泳げなかった子ども達にとって大きな助けとなり、多くの子ども達が泳げるようになった。楽しみながらも達成感を感じている子ども達と、水泳教室を通じて人間的にも成長している我が子を見守る保護者の方の感謝の様子が伝わってきて、心温まる思いがした。強い意欲と情熱を持って活動を続けていらっしやることに、敬意を表したい。	丸亀市 20年

平成23年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動（受賞者・団体）	活動分野	活動内容	講評（選考委員会）	備考 活動年数
1	<p>地蔵池水辺ガーデンづくり</p> <p>まえだ みよこ 前田 美代子 [個人]</p>	環境保全	<p>自宅近くの「地蔵池」の堤を、四季折々の花が咲く美しい庭園にしようとして、約7年間にわたり毎日朝から夕方まで、花の苗植えや草抜き、水やりなどの手入れを続け、地域の人々の出会いやふれあいの場となる癒しに満ちたすばらしい空間によみがえらせた。一人でコツコツと作業を続ける姿は、周囲の人たちの心を動かし、共に活動したり協力してくれる仲間をつくり、地域の人々を巻き込んだ活動へと広がりを見せている。また、地元中学校のボランティア部員は、この活動からボランティアにとって大切なことを学び、自然な形で活動の手伝いをして</p>	<p>たった一人で始めた活動が、周囲の人たちの心を動かし、共に活動したり協力してくれる仲間をつくるとともに、地元中学校のボランティア部員の活動の手本となっている。地域の人々を巻き込み、地域の人たちとの出会いやふれあいをもたらす「心温まる」活動に成長しており、これからもその活動の輪の広がりが期待される。</p>	<p>普通寺市 7年</p>

平成22年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動（受賞者・団体）	活動分野	活動内容	講評（選考委員会）	備考 活動年数
1	外国人（留学生や研修員）が安心して暮らすための交流と支援活動 ぶっしょうざん 仏生山 こくさいこうりゅうかい 国際交流会	国際交流・ 国際協力	県への海外技術研修員や大学や専門学校などへの留学生が、日本の文化や生活習慣、言葉などの違いで悩んだり困ったりすることがなく、安心して生活できるよう、歓送迎会やスポーツ大会の開催、四季折々の地域行事への招待、生け花や茶道などの日本文化の講習などを通じて、地域住民との友好親善と相互理解を深めるなど、地域に根ざした草の根の国際交流を行っている。また、生活用品の提供や各家庭への招待、心のケアなど日常生活に密着した生活支援も行っている。	活動を始めた当時、国際交流の分野での活動は珍しかったと思うが、以来、42カ国400人余りの外国人を対象に活動を行ってきたことはすばらしい。環境や習慣が違う外国で、生活面で困ったときにサポートがあるということは、何より心強いものであり、交流活動だけでなく生活支援活動を長く続けてこられたことは評価に値する。本当に困ったときに支えになってくれる活動は「心温まる活動」であり、当事者にとっては「勇気づけられる」活動に該当する。	高松市 25年

平成21年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	クリスマス訪問活動 らくゆうかい 楽友会	子どもの健全育成	土庄高等学校の昭和37年度卒業生6名が「何か社会に役立つことがしたい」と、昭和39年から、毎年12月の第3日曜日に、土庄町豊島の乳児院・豊島神愛館の子どもたちにケーキなどのクリスマスプレゼントを届ける活動を行っている。毎回、子どもたちは満面の笑みで応え、楽しい交流のひとときを過ごしている。訪問は、これまで1回も絶やしたことはなく、今年12月で46回目を迎える。	45年間、1度も絶やすことなく訪問を続けていることは、素晴らしい。誰もが自分の生活に必死だった時代に、子どもたちを喜ばせようと始めたこの活動は、ボランティア精神にあふれている。サンタクロースに扮装したメンバーから、プレゼントを手渡された子どもたちの満面の笑みを思い浮かべると、心温まる思いがする。	土庄町 45年
2	大野原地区における地域福祉活動 おおのはらちよう 大野原町 グリーンクラブ	保健・福祉 子どもの健全育成	旧大野原町でソフトボールを愛好する40歳以上の男性有志が「ソフトボールを楽しむだけでなく、みんなで地域に恩返ししよう」と、昭和54年から、母子家族との交流、青少年巡回補導パトロール、介護老人保健施設ひうち荘の清掃・草刈り、ひうち荘入所者の雲辺寺登山参拝の補助、敬老会参加者の送迎など、さまざまな地域のニーズに根ざしたボランティア活動を行っている。	地域のさまざまな課題やニーズに柔軟に対応する活動は、「住民による地域貢献」という、地域に根ざしたボランティア活動である。地域力の低下や絆の希薄化が顕著な今の時代に、地域の結束力を再生する、まさにお手本となる活動であり、非常に評価できる。この活動が、次世代の人たちに引き継がれ、発展していくことを期待している。	観音寺市 30年
3	半生にわたる在宅高齢者に対する生活支援と介護援助活動 みやもと のりこ 宮本 典子	保健・福祉	昭和43年に坂出市の老人家庭奉仕員(現・ホームヘルパー)となり、職務として在宅高齢者の介護支援を行いながら「相手の立場に立ったきめ細かなサービス」を模索し、平成6年、有志とともに「ハート&アリの会」を立ち上げ、いつでも困ったときにすぐに対応する在宅高齢者福祉サービスを行っている。ホームヘルパー養成講座の講師なども積極的に行い、後進の育成指導に努めている。	半生にわたるホームヘルパーの経験と持ち前の実行力で、公的制度の行き届かない部分をしっかりカバーし、1日24時間365日体制で高齢者とその家族を支援する活動は、まさに「福祉の心」を実践するボランティア活動であり、感動を覚えた。長年の地道な活動を高く評価し、今なお意欲的に、後進の育成指導を続けることに、敬意を表したい。	坂出市 15年

平成20年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動（受賞者・団体）	活動分野	活動内容	講評（選考委員会）	備考 活動年数
1	<p>理容奉仕活動</p> <p>うえた としお 植田 利夫</p> <p>ふしもと たかお 藤本 隆夫</p> <p>きの てつゆき 木野 哲幸</p>	保健・福祉	<p>香川県理容生活衛生同業組合高松支部が実施する「福理容」として、毎月1回、児童養護施設讃岐学園において、主として小学生以下の子どもの散髪や髭剃りをする理容種を行っている。高松地域の理容師10数名が参加しているが、38年もの間、継続して種しているのは、この3人だけである。</p> <p>この活動を通して子どもたちとの交流も深まり、理容種の易が、互いの心の癒し空間にもなっている。</p>	<p>38年もの長い間、続けてこられたことに敬意を表したい。理容師という職人技をボランティアに活かしていることは、素晴らしい。讃岐学園の子どもたちと触れ合い、信頼関係を深めてきたことに、心温まるものを感じる。ボランティア活動に対する理解を広める上で、社会的評価の高い活動と言える。</p>	高松市 38年
2	<p>荒廃している人工林（スギ・ヒノキ）の整備活動</p> <p>特定非営利活動法人 ここにふあくらぶ</p>	環境保全	<p>「森林保全のためには、里山整備だけでなく人工林（スギ・ヒノキ）整備も急務」という強い意志のもと、所有者から依頼を受けて、毎週土・日曜日に、放置され、荒廃している人工林の手入れをしている。主な活動は、間伐、枝打ち、下草刈り、竹林の皆伐など。公募の助成金制度を積極的に活用して資金を調達するなど、組織として自立した運営を展開している。</p>	<p>地球規模の喫緊の課題である森林保全に取り組み、肉体的負担の大きい活動を毎週末行っていることに、頭が下がる。この実践的な活動を広く県民に知ってもらい、県民一人一人の環境保全に対する意識づけや環境教育に繋がることを期待している。</p>	高松市 9年
3	<p>点訳絵本・点字メニュー等の製作活動</p> <p>てんじ 点字サークル・ ライト</p>	保健・福祉	<p>「目の見える人と同じように、レストランでメニューを選びたい」という願いを実現しようと、メニューの点訳を始めた。その後、絵に凹凸を付けて指でも読めるようにした点訳絵本の存在を知り、「目の見える人も見えない人も同じ絵本を楽しめる」という点に魅力を感じ、その製作を行っている。このほか、視覚障害者の外出支援や小中学校での点訳を含むボランティア体験講習なども行っている。</p>	<p>視覚障害者の願望を上手く汲みとり、彼らに生きる喜びを感じてもらえるような素晴らしい活動である。障害のあるなしに関係なく「人間として共に生きる」ことを重視し、それを具体化しようとする取り組みは、高く評価できる。視覚障害者の自立をサポートする実践的なボランティアと言える。</p>	高松市 12年

平成19年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	有明浜海浜植物の管理 こにし たけとし 小西 武利	環境保全	観音寺・有明浜に群生している海浜植物を守り、次世代の子どもたちに伝えていくため、毎朝、日の出とともに有明浜に出かけて、希少植物の保護に重点を置いた外来種の除去を中心に、除草作業、ゴミ拾いなど海浜植物の管理を行っている。 また、依頼があれば、種の採取、植え付けなどを地元の小学生とともにを行い、海浜植物について分かりやすく説明している。	除草やゴミ拾いなど根気のある作業を4年前からは毎日、地道に続けている点は、高く評価できる。背伸びしない、できる範囲での日々の活動が、有明浜の希少植物の保護に繋がっており、ボランティアとして模範的な活動を実践している。次世代への教育的な配慮をしている点もすばらしい。	観音寺市 12年
2	点訳を通じた視覚障害者の支援 てんじ 点字ボランティア むし てんとう虫	保健・福祉	点訳講座修了者などが集まってできた団体で、カレンダーや時刻表、公共料金の通知書など視覚障害者の要望に応じ、日常生活に必要なものの点訳を行っている。 日ごろから視覚障害者の方と交流し、旅行や買い物介助をしたり、料理や編み物の講習会を開いたりしている。また、依頼があれば、小学生に点字指導をしている。	単なる文章の点訳ではなく、視覚障害者の日常生活に密着した部分に注目し、肩に力を入れず、活動自体を楽しみながら行っている点は、心温まるものがある。点訳だけにとどまらず、買い物介助などの生活支援も行っており、まさに、ボランティアが生きる活動をしている。	観音寺市 12年
3	「いろいろ塗装の日」 社会奉仕活動 社団法人 にほんとうそうこうぎょうかい 日本塗装工業会 かがわけんしぶ 香川県支部	まちづくり	(社)日本塗装工業会は、塗装工事業の健全な発展を目指す全国組織で、各都道府県に支部がある。毎年11月16日を「いろいろ塗装の日」と称して社会貢献活動を実施しており、香川県支部では、会員全社が参加して、県内の福祉施設や養護学校などの校舎の内装の塗り替えボランティアを行っている。内装は手入れが行き届きにくいいため、施設から喜ばれている。	企業の社会的な取り組みとして、27年間にわたり、福祉施設や養護学校を対象にボランティア活動を続け、地域とともに歩もうとする姿勢は、大いに評価できる。企業におけるボランティア意識が醸成されるよう、今後も、より一層活躍することを期待している。	高松市 27年

平成18年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	ほがらか体操 いりぐち くにこ 入口 邦子	保健・福祉	坂出市内の高齢者の自主運営で行われている「ほがらか体操(昭和60年～)」で、筋力低下を防ぐための体操などを行い、高齢者の健康増進、介護予防に熱心に取り組んでいる。楽しく身体を動かすレクリエーションは、参加者に大変好評である。身体障害者協会や母子福祉連合会が行うイベントにも参加している。	ボランティアの原点とも言える取り組み方で、肩に力を入れず楽しんで活動している。自ら立ち上げた「ほがらか体操」は、高齢者と楽しい時間を共有しながら20年間続けており、高齢者の健康増進や介護予防に寄与している。自らが楽しみながらの活動は、元気な高齢者をより元気にし、勇気づけるすばらしい活動である。	坂出市 20年 (ほがらか体操)
2	聴覚障害者に対する 情報保障(手話)の取 組み ぜんこくしゅわつうやくもんだい 全国手話通訳問題 けんきゅうかいかかわし ぶ 研究会香川支部	保健・福祉	手話や手話通訳のこと、聴覚障害者にかかわることなどの学習会を開催したり、広報などの活動、情報保障の取り組みなど、様々な活動を行っている研究会。各都道府県に支部がある。 イベント時の手話通訳や病院や看護学校において、医療スタッフへの手話講習会の開催などの活動を行っている。	障害者が特に不便や不安を感じることの多い病院などでスタッフ側への講習会を行うなど、手話通訳派遣の公的制度を補完する役割を果たしている。手話の技術だけではなく、「障害者一人一人のニーズに対応したい」という姿勢は大変すばらしく、26年の長きにわたり障害者を支えているその活動には大変感動させられる。	高松市 26年
3	手づくり布絵本作成 まるかめ ぶんこ 丸亀ひまわり文庫	保健・福祉 子どもの 健全育成	子どもたちの機能回復に役立つためにと、フェルトやデニムの布地などを使って、遊具や絵本を手作りしている。作品は丸亀養護学校の生徒達にも使ってもらい、定期的な交流を行っている。また、手作り絵本、遊具全国コンクールなどにも出展し、よりよい作品づくりに取り組んでいる。作品は学校などに貸し出しもしている。	「手作り布絵本」という、まだまだ知られていない分野に着眼し、大変な努力で作品を作り上げ、布絵本を広める活動をしている。また障害者たちとの交流も積極的に行っており、対象を障害者・健常者のように特定することなく子どもたちの健全育成に寄与している。誰かのために一針一針時間をかけて作るという活動を25年間続けており、大変心温まる活動である。	善通寺市 25年

平成17年度 ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動（受賞者・団体）	活動分野	活動内容	講評（選考委員会）	備考 活動年数
1	笠島地区町並み保存活動 たかしま つつむ 高島 包	まちづくり	昭和50年頃から笠島の町並みを守る活動を始め、昭和57年に「笠島まち並保存協会」を設立してからは、会長、副会長として会の中心となって、建物の修理や修復の計画、地区内の環境整備、観光客への対応など、積極的に活動を行ってきた。過疎化が進む地域を活性化させるため、住民との連絡を密に行い、笠島の歴史的遺産を守り続けている。	過疎化が進み地域住民が島から離れ、保存建造物の壊れていく現象を何とかストップさせようという切なる思いから笠島での活動を開始し、今では島全体のまちおこしに広がるきっかけになっている。自分の生まれ育った笠島の町並みを30年間の長きにわたり守り続けてきた地道な活動は大変すばらしい。	丸亀市 約30年
2	わたぼうしコンサートの支援 いのだ しゅんいち 稲生田 純一	保健・福祉	わたぼうしコンサートの初回（昭和50年）から、30年間にわたり生徒とともに携わり、障害を持つ人たちと生徒との交流のつなぎ役を果たしてきた。マイク一本から機材運びなどステージ関係の進行を主に担当し、裏方に徹して障害者福祉向上に貢献している。	活動を通じて障害者や、教養子との関わりを深め、人々とのつながりから得られる力をエネルギーにして活動を続けている。わたぼうしコンサートによって多くの人に感動を与えているだけでなく、決して表に出ることなく裏方に徹して活動を続けているその姿こそが人々に感動を与えている。	高松市 30年
3	月刊ユーテの発行 げっかん 月刊ユーテ	保健・福祉	昭和53年の創立以来、ハンセン病施設での学習会の開催、香川県各地に住んでいる身障者の介護、また毎月ガリ版の「月刊ユーテ」の発行を行っている。誌上では、ハンセン病施設在園者、県内各地の身障者、ボランティアの方の日常生活における喜び、感動などを発表している。	ハンセン病療養施設入所者や身体障害者、ボランティアの方々の日常生活の喜びや感動などを伝えるために、27年間ひたむきな活動を続けている。「伝えたい」「伝えなければならない」という情熱をもって活動しており、その熱心な取り組みに勇気づけられる。	高松市 27年

平成16年度ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	児童登校時見守りボランティア くにともけんいち 国友憲一	子ども	自宅近くの押しボタン信号の交差点で、毎朝小・中学生の登校時間にあいさつを交わしながら、児童たちの安全と声かけによる健全育成の推進に寄与している。退職後、何か児童の健全育成に役立つ活動がしたいという想いから活動をはじめてはや、20数年の歳月が流れた。	雨の日も風の日も、寒い冬の日も暑い夏の日も、子ども達の交通安全を願って毎朝交差点に立ち声かけをする活動は、地道ではあるが、大切な子ども達の命を交通事故から守り、「地域で子どもを育てる」という今の時代にマッチしたすばらしい活動である。	宇多津町 20数年
2	障害児のちびっこ教室 しょうがいじ 障害児のちびっこ きょうしつ 教室	福祉 子育て 支援	障害児の社会参加促進のため、また、障害児を日常的にケアする家族にリフレッシュの時間を提供するため、障害児(小1～中2)とその兄弟姉妹を月1回預り集団遊びを行っている。学生ボランティアが運営の中心となり、昭和46年の会の発足以来32年間にわたり、途切れることなく後輩へと活動が引き継がれている。	障害児にとっては、家族以外の人とのふれあいから生活の幅を広げる機会が創出され、また、その家族のレスパイト・ケアに寄与し、現代社会においてニーズの高い大切な活動である。そのような活動に32年前から取り組み、一大学の学生に留まらず、他校の学生とも連携しながら後輩へと活動を引き継ぐ取り組みは感動的である。	高松市 32年
3	交通安全活動 いずみかわさだこ 泉川 定子	地域 安全 活動	10年間にわたり、坂出市及び地元校区等主催による交通安全運動キャンペーン時に配布するマスコットを、色紙や毛糸などを利用して毎年違った品物を自宅において製作している。1年に製作するマスコット数は400個を越え、年間の大半を製作に割いているほか、近隣の交差点で行われるキャンペーンでは自ら出向き交通安全の活動をしている。	マスコットづくり自体は、趣味性の強い活動であるかもしれないが、ボランティアは楽しんですることも大切である。地味ではあるが10年という長期にわたって交通安全活動を裏方で支える活動を広く知っていただきたい。交通安全を願いながらマスコットを一針一針縫う姿は心があたたまるものである。	坂出市 10年

平成15年度ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	朗読奉仕活動 ろうどくぐるーぷ かようかい 朗読グループ火曜会	福祉	20年間にわたり、継続的に視覚障害者のための新聞、視覚障害者のための新聞、本等の録音テープを作成するほか、老人福祉施設での高齢者への対面朗読や朗読劇、小中学校の教師や生徒との勉強会など、朗読を通して幅広い層とのコミュニケーションを図っている。	視覚障害者のための新聞等の録音テープ作成や交流会、高齢者への対面朗読など、それぞれのニーズに応じた多彩な定期活動を長年にわたり取り組むほか、朗読という行為を通して、子ども達との勉強会などの交流の機会を設け、次世代へと活動を広げていく取り組みは、心温まるものである。	坂出市 20年
2	痴呆老人と介護者へのケア、社会の痴呆理解の啓発活動 ゆうばえのかい 夕映えの会	福祉	痴呆の介護にとって重要である介護者への「心のケア」を重視し、介護交流会や勉強会、365日24時間体制での電話相談や福祉情報の提供を行うほか、痴呆への理解を深めるため社会への啓発活動を行っている。	自らの介護経験を活かした様々な活動は、痴呆介護者の精神的な支えとなることはもちろん、時代に要請された重要な取り組みである。会の内部にとどまらず、痴呆について社会啓発を行い理解を広げていく積極的な活動は、誰もが勇気づけられるものである。	高松市 10年
3	道路の美化活動 動物愛護活動 たかはしこまお 高橋 駒雄	環境	15年前から、仕事などで車移動する際、交通事故に遭い路上に放置された猫や犬の亡骸を見つけると、地域の墓地の片すみに埋葬し手厚く葬っている。また、財田川右岸道路の植栽の草抜き等の清掃活動を10年間にわたり行っている。	高齢にもかかわらず、長年にわたる草抜き等の清掃活動もさることながら、交通事故で無残な姿になった動物を収容し、心をこめて供養する姿は、誰もがこの世のすべての生命の尊さについて改めて考える契機となる慈悲深い活動である。	観音寺市 10年
4	老人ホームや施設での交流 子どもの健全育成 おおかわちょうほらんてい ああいのかい 大川町ボランティア愛の会	福祉 社会 教育	地域内の老人ホームのデイサービスレクリエーションや清掃、児童福祉施設の園生との交流会など、地域の人々と地域に根ざした活動を長きにわたり行うほか、中学生が行うボランティア活動の支援を行っている。	25年間という長期にわたり、継続的に自分達が出来る様々な活動を地道に行うほか、ボランティアに関心のある子ども達を導き、活動の手助けを行うなど、ボランティアの心を次世代を担う子ども達につなげていく取り組みは、心温まるものである。	さぬき市 25年

平成14年度ボランティア大賞受賞活動の内容等

番号	受賞活動(受賞者・団体)	活動分野	活動内容	講評(選考委員会)	備考 活動年数
1	朗読奉仕活動 たかまつろうどくかい 高松朗読会	福祉	18年間にわたり、視覚障害者のための録音テープ作成などのほか、病院や施設での疾病者・障害者・高齢者への対面朗読、小学校などでの紙芝居上演など、朗読をとおして幅広い活動を行っている。	視覚障害者用のテレビガイドの録音テープ作成や、病院での対面朗読など、日常生活における細やかなニーズに対応した長年にわたる取り組みである。朗読という誰にでもできる行為をとおした創意工夫のある活動は心温まるものである。	高松市 18年
2	おはなし会による社会教育活動 でんでんむし 伝々虫	社会教育 (子どもの健全育成)	昔話のおはなし会を定期的に図書館で開催するとともに要請に応じて小学校・幼稚園などに出向いて実施するなど、子どもたちに昔話の豊かな世界を伝え、読書の楽しさを知らせる活動を9年間にわたり行っている。	子育ての経験を活かし社会に還元するという生活者の視点から生まれた継続的な取り組みである。自身の経験を発展させ、子どもたちが生きる力を培い、心豊かに成長することを助ける活動は互いの信頼感と理解しあう心が深まっていくものである。	高松市 9年
3	道路の美化活動 おかざきよしみ 岡崎良三	まちづくり (環境)	市道の1.6kmの区間において、水遣り・剪定などの植樹帯の維持管理活動を7年間にわたり、ほとんど毎日個人で行っている。	高齢にもかかわらず、長年にわたりほぼ毎日作業を行い、地域での同様の活動の広がるきっかけになっている。誰にでもできる行動の社会的な評価を高める取り組みとして勇気づけられる活動である。	観音寺市 7年
4	収穫体験(イモ掘り)招待による子どもの健全育成活動 なかやまたけお 中山武夫	子どもの健全育成	児童自立支援施設の園生を自己所有の畑での収穫体験(イモ掘り)へ招待するとともに学園祭に参加する活動を33年間にわたり、個人として継続して実施している。	33年間一度も欠かすことなく農作物を作って招待することは、子どもに対する深い思いやりと愛情に加え、強い意志がなければ継続できるものではない。自分にできることを継続して行うひたむきな取り組みは感動的である。	三木町 33年

平成13年度かがわボランティア活動顕彰受賞活動の内容等

	受賞活動	受賞者・団体（敬称略）	活動内容	備考 活動年数
ボランティア大賞	①森林活動と子供の健全育成活動	特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	どんぐりランドや三木ランド、仲南の森等で年間延べ100日以上にわたって活動。子供たちを中心に、森林体験を提供する活動と森林に関する文化的活動を行い、環境保全の普及、健全な心身育成を図っている。	高松市 7年
	②耳の不自由な人への要約筆記の提供活動	特定非営利活動法人香川県要約筆記サークルゆうあい	中途失聴者・難聴者の耳代りとして、各種行事、難聴者の日常生活、講演会等で「聞こえの保障」を行い、手話のわからない耳の不自由な人の社会参加を支援している。	高松市 14年
	③民家での高齢者デイサービスの提供活動	町かどデイサービスしゃろ〜む	民家を借用し、週一回町かどデイサービスを実施。通所者、ボランティアスタッフが小人数の疑似家族のように仲良し時間を共有。将来、町の角々に、寄合い所帯的な生活支援の場ができることを夢見ている。	津田町 1年
ボランティア功労賞	④ふれあいによる子どもの健全育成活動	松崎洋祐、松崎ミツ子	近くの児童自立支援施設に毎週たこ焼を贈り続けている。また、児童が社会に巣立つ準備として、職場学習にも協力するなど、個人としての活動を21年間にわたり、継続して実施している。	高松市 21年
	⑤子ども会活動の支援、高齢者との交流	横山文子	37年前前から子供会行事に従事。電話相談や啓発活動のほか、特別養護老人ホームでの交流活動、高齢者への一声運動の推進、ふれあいいきいきサロンの開催など、多様な活動を行っている。	観音寺市 37年
	⑥愛のモチーフ運動の提唱と実践活動	高松ボランティア協会 ピコットの会	いつでも、どこでも、誰でもできるボランティア「愛のモチーフ運動」を提唱。全国の賛同者から10cm角の毛糸編みのモチーフを募り、とじ合わせてひざかけなどを作り、全国の福祉施設等に毎年300枚余を贈呈。	高松市 22年
ボランティア奨励賞	⑦災害救助ボランティア活動	河野好一	赤十字防災ボランティアリーダー、日本赤十字社救急法指導員として、日本赤十字社や行政機関の要請を受けて、応急救護・復旧等の活動に能力、労力、時間等を自主的に無報酬で提供している。	高松市
	⑧カンボジアなどにおける国際協力活動	特定非営利活動法人セカンドハンド	無償提供を受けた衣服などを販売し、収益金により、カンボジアにおいて、小学校建設、教材の寄贈、識字教育、ミシン等の寄贈などの支援を行っている。	高松市 7年
	⑨ラオスなどにおける国際協力活動	香川国際ボランティアセンター	(財) 県国際交流協会のラオススタディツアー参加者を中心に、ラオス自立への支援、特に教育支援を行っている。主な活動は、現地での井戸掘り、ピアノ、謄写版、絵本等の寄贈、小学校や職業訓練学校等3校の建設など。	高松市 8年
	⑩観光ボランティアガイド活動	香川県シルバーふるさとガイド協会	県を代表する観光地の栗林公園で、毎週土日、祝日を中心に、県内外の観光客の内、希望者に対して、県の歴史、文化を交えながら、優れた造園技術や四季の風情など公園の見所を紹介。	高松市 3年
	⑪臍帯血バンクの普及啓発活動	臍帯血バンクを支援する香川の会	「新しい命がもう一つの命を救う！」をキャッチフレーズに、白血病等の重い血液疾患医療に有効な臍帯血移植を推進するために、情報提供、普及啓発、募金活動、電話相談などを行っている。	高松市 4年

※ 平成14年度からはボランティア大賞のみとなっています。